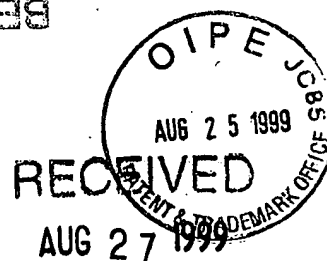


BEST AVAILABLE COPY

An English Translation of an Excerpt from Reference A
(Japanese Laid-Open Patent Application No. H9-172658)



[Abstract]

TECHNOLOGY CENTER 2800

[Object] To provide a key telephone system having a display means capable of multilingual display to cope with different areas using different languages.

[Features] A database is provided in which different languages are stored. At power-on, a message is displayed in an initial language on a display means. In this state, when a language change key is operated, a corresponding index of the database is designated (21-23), and the language corresponding to the designated index is read out to change to that language the language in which the display means displays messages (24). The initial language can be changed to a desired language by simple key operation, and thus a single key telephone system can cope with different countries using different language.

[Means for Solving the Problem]

According to the present invention, different languages are stored in a database, as realized with ROM, provided within the system so that display is achieved by reading one of those languages as required. That is, a key telephone system according to the present invention is provided with a database in which different languages are stored. At power-on, a message is displayed in an initial language on a display means. In this state, when a language change key is operated, a corresponding index of the database is designated, and the language corresponding to the designated index is read out to change to that language the language in which the display means displays messages.

(10) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-172658

(53) 公開日 平成9年(1997)6月30日

(51) Int. Cl. ⁴ H 04 Q 3/58	識別記号 107	庁内整理番号 H 04 Q 3/58	107	技術表示箇所
---	-------------	-----------------------	-----	--------

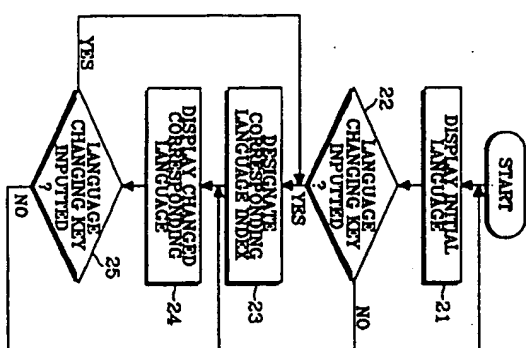
審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

21) 出願番号 特願平8-222134	(71) 出願人 三昌電子株式会社 大韓民国京畿道水原市八達区梅園路416
(22) 出願日 平成8年(1996)8月23日	(72) 発明者 金 秀 福 大韓民国慶尚北道龜尾市松亭路44番地
(31) 優先権主張番号 1995 P 26431	(74) 代理人 弁護士 高月 弘
(32) 優先日 1995年8月24日	
(33) 優先権主張国 韓国 (K R)	

(54) 発明の名称 キーテレホンシステム

(57) 要約

【課題】 表示手段の言語表示が言語の異なる多数の地域に於て可能なキーテレホンシステムを提供する。
【解決手段】 多種類の言語を記憶したデータベースを備え、電話番号により初期設定の言語を用いて表示手段に表示をした状態で電話番号変更キーの入力があるとこれに応じてデータベースのインデックスを指定し(21~23)、そしてその指定インデックス該当の言語を抽出して表示手段の表示言語をその抽出した言語に変更する(24)。初期設定の言語を簡単なキー操作で所望の言語へ変更することが可能なので、1種類のキーテレホンシステムで多数の言語の国に対応することができるようになる。



【発明の要約】

【構成】 多種類の言語を記憶したデータベースを備え、電話番号により初期設定の言語を用いて表示手段に表示をした状態で電話番号変更キーの入力があるとこれに応じてデータベースのインデックスを指定し、そしてその指定インデックス該当の言語を抽出して前記表示手段の表示言語をその抽出した言語に変更するようにし、また、ある言語の外国に製造されたものを他の言語の国で利用することは可能となる。

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はキーテレホンシステム(KEY TELEPHONE SYSTEM)に関し、特にそのLCD等の表示手段の表示方法に関する。

【0002】

【発明の要約】 キーテレホンシステムには、LCD等の表示手段が備えられ、この表示手段による文字表示で各種機能及び動作状態を表示するようにしている。ところが従来では、その表示手段の表示言語は製造時にセットされ、1種類の言語でしか表示できないものとなっている。このため、言語の異なる各国外にそれぞれ製造ラインを別にしなければならなくなっており、また、ある言語の外国に製造されたものを他の言語の国で利用することは非常に不便となる。

【0003】

【課題を解決するための手段】 本発明では、多種類の言語をROM等のシステム内データベースに多重記憶しておき、必要に応じてそのうちのいずれかを抽出して表示するようにする。即ち、本発明によるキーテレホンシステムは、多種類の言語を記憶したデータベースを備え、電話番号により初期設定の言語を用いて表示手段に表示をした状態で電話番号変更キーの入力があるとこれに応じて前記データベースのインデックスを指定し、そしてその指定インデックス該当の言語を抽出して前記表示手段の表示言語をその抽出した言語に変更することを特徴とする。

【0004】

【発明の実施形態】 以下、本発明の実施形態につき添付図面を参照して詳細に説明する。

【0005】 図1は、キーテレホンシステムのブロック図である。図示のキーテレホンシステムは、キーサービスユニット(Key Service Unit: KSU)とキーテレホンセット(Key Telephone Set: KTS)とに大別される。

【0006】 キーテレホンシステムのKSUは、システムの諸機能を行うためのプログラム及び固定プログラムを記憶しているROM10と、各サービスユニット、システムモジュール、プログラム、及びデータ処理の構成として用いられ、処理されたデータを一時に記憶するRAM20と、通話スイッチを制御し、各種のサービスを提供する第1中央処理装置30と、電話線11へ接続し、通話加入者端末(KTS)と接続されて音声データを伝送するメイン加入者回路(Main Subscriber Circuit)40と、局線と接続されてリッチング検出、パルス検出、過電圧保護、スイッチング相対制御を行うトラッキング回路(Tracking Circuit)50と、トラッキング回路50及びリッチング回路40の間の通話線路を形成するためのリッチング回路60と、トラッキング回路50、スイッチング回路40、メイン加入者回路40、及び第1中央処理装置30の間のデータ入出力を円滑に行うようにする第1インターフェース回路70と、を備えている。

【0007】 キーテレホンシステムのKTSは、入力に於て命令を処理して通話回路部を制御し、リッチング検出や各種機能の表示、送受相データ処理を行うリッチング回路80と、KSUからのメイン加入者回路40から供給される電源を各回路部へ中継し、またメイン加入者回路40と第2中央処理装置80との間のデータ中継する第2インターフェース回路90と、メイン加入者回路40との間で通話音声の中継するための第3インターフェース回路100と、第2中央処理装置80と接続されてダイヤルキーコマンドを入力するキーボード1120と、第3インターフェース回路100と接続されて通話を行うハンドセット1150と、ダイヤルコードの通話と可能とするスピーカ1140と、着信音を受生するトーンリッパ1160と、ダイヤル番号、P通話時の相手方の通話番号、局線接続の通話番号、リッチング回路80と、ハンドセット1150の表示するリッチング回路110と、ハンドセット1150の状態に電話線接続を制御するリッチング回路1130と、を備えている。

【0008】 図2は、上記のようなキーテレホンシステムにおける表示言語変更の制御フローチャートであり、即ち、電源がオンとなり、各種機能や動作状態を初期設定の言語で表示した状態において、電話番号変更キーが入力されると多種類の言語を多重記憶したデータベースのインデックスを指定し、そしてその指定インデックス該当の言語を抽出して表示手段の表示言語をその抽出した言語に変更する過程が実行される。

【0009】 まず、キーテレホンシステムの電源がオンされるとステップ21で、各種機能や動作状態をデフォルト(Default)値に従って初期設定の言語(INITIAL LANGUAGE)を用いて表示手段のLCDユニット110に反映するようにプログラムされている。この状態において、ステップ22で、キーリッパ1120に於ける言語変更キー(CHANGE KEY)がリッパされたか否かを査し、言語変更キーの入力がない場合はステップ21に戻る。言語変更キーの入力があった場合は、第2中央処理装置80が第2インターフェース回路90、メイン加入者回路40、及び第1インターフェース回路70を通じて第1中央処理装置30へ言語変更キー入力を伝送するとステップ23で、多種類の言語を多重記憶し

一ケースとしてのROM10に対し、言語変更キー入力に対応した言語のインデックス(ADDRESSING LANGUAGE INDEX)が指定されてアクセスされ、その指定インデックスに従う選択対象の言語が送出される。

【0010】そしてステップ24で第1中央処理装置30は、表示していた初期設定の言語をステップ23で送出した該当言語(ADDRESSING LANGUAGE)へ変更し、第1インタフェース回路70、メイン加入者回路40を介して第2中央処理装置80へ伝える。これを受けた第2中央処理装置80は、変更後の言語を1.CDユニット110に表示する。この後にはステップ25で、キートリックス120から言語変更キーが入力されるか否かが再検査され、言語変更キーが入力されたらステップ23に戻って上述動作を繰り返す。言語変更キーの入力がなければそのまま現時点の言語を表示する。

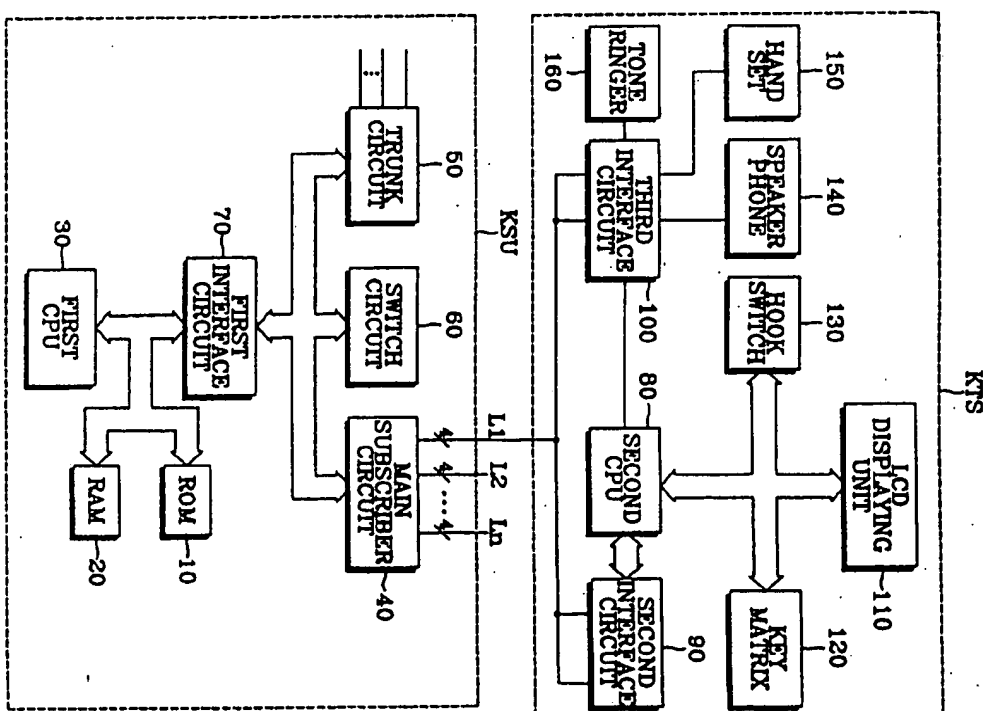
【0011】尚、初期設定の言語は、システムへの通話開始時にソフトウェアにセットされたデフォルト値に従って表示される言語を意味し、韓国語、英語、スペイン語、ポルトガル語等の多様な言語のいずれであってもよいことになる。

【0012】
【発明の効果】本発明のキーレボシステムによれば、最初に表示される初期設定の言語を簡単なキー操作で所望の言語へ変更することが可能になる。従って、1種類のキーレボシステムで多様な言語の国に対応することができ、言語の異なる国別にそれぞれ専用のキーレボシステムを制作する必要はなくなり、コスト的にも生産性の面でも非常に有利である。

【図面の簡単な説明】
【図1】キーレボシステムのブロック図
【図2】表示言語変更の過程を説明するフローチャート。

- 【符号の説明】
30 第1中央処理装置
40 メイン加入者回路
50 トランク回路
70 第1インタフェース回路
80 第2中央処理装置
90 第2インタフェース回路
100 第3インタフェース回路
110 LCDユニット
120 キートリックス
130 トーンリッパ

【図1】



[图 2]

